

資料の訂正について

研究発表 土谷文子 資料

P82 巻末資料IV 事例調査資料③

宮古市北上山地民俗資料館 令和7年度事業 その他

修正前

事業名：「地域の宝マップ」作成

内容： 博物館協議会にあたる。年1回開催

↓

修正後

事業名：宮古市文化財保存活用地域計画の関連事業

内容：「地域の宝マップ」作成（地域の魅力再発見・門馬地域編の実績をもとに作成）

	講座	森の体験学習会（早池峰山「アイオン沢」春・秋）、工作教室（夏・冬）、砂金探し体験、年中行事と郷土食（正月飾り、年縄作りともちつき体験）															
	小品製作体験（随時）	「昔の技術と自然の素材で小物づくり体験」（館内、出前）															
○その他																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="354 495 638 539">事業名</th> <th data-bbox="638 495 1380 539">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="354 539 638 636">民俗芸能記録・保存事業</td> <td data-bbox="638 539 1380 636">市内の郷土芸能や祭礼行事を映像により記録保存（業務委託）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 636 638 685">レファレンス等</td> <td data-bbox="638 636 1380 685">調査研究、資料貸出、取材等への対応</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 685 638 781">見学受け入れ（市内小学校）</td> <td data-bbox="638 685 1380 781">展示解説、昔の道具体験、昔話ほか</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 781 638 831">情報公開活動</td> <td data-bbox="638 781 1380 831">機関紙の発行、SNS、ホームページの管理</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 831 638 880">運営委員会議</td> <td data-bbox="638 831 1380 880">博物館協議会にあたる。年1回開催</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 880 638 1021">宮古市文化財保存活用地域計画の関連事業</td> <td data-bbox="638 880 1380 1021">「地域の宝マップ」作成（地域の魅力再発見・門馬地域編の実績をもとに作成）</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	内 容	民俗芸能記録・保存事業	市内の郷土芸能や祭礼行事を映像により記録保存（業務委託）	レファレンス等	調査研究、資料貸出、取材等への対応	見学受け入れ（市内小学校）	展示解説、昔の道具体験、昔話ほか	情報公開活動	機関紙の発行、SNS、ホームページの管理	運営委員会議	博物館協議会にあたる。年1回開催	宮古市文化財保存活用地域計画の関連事業	「地域の宝マップ」作成（地域の魅力再発見・門馬地域編の実績をもとに作成）
事業名	内 容																
民俗芸能記録・保存事業	市内の郷土芸能や祭礼行事を映像により記録保存（業務委託）																
レファレンス等	調査研究、資料貸出、取材等への対応																
見学受け入れ（市内小学校）	展示解説、昔の道具体験、昔話ほか																
情報公開活動	機関紙の発行、SNS、ホームページの管理																
運営委員会議	博物館協議会にあたる。年1回開催																
宮古市文化財保存活用地域計画の関連事業	「地域の宝マップ」作成（地域の魅力再発見・門馬地域編の実績をもとに作成）																
所感	<p>神楽共演会を通じて郷土芸能の継承を支え、地域に学びと交流の場を生み出している点が印象的だった。教育機関との連携では、蕎麦切り体験に石臼を取り入れる工夫が、地域文化を体感的に学ぶ機会を創出していた。限られた予算の中で近隣施設や住民を講師として招き、人材を発掘する姿勢は、地域資源を活かす柔軟な取組だと感じる。こうした活動の背景には、学芸員が地域に足を運び、高齢者から昔の暮らしを聴き取り、映像で記録してきた積み重ねがある。「博物館は人を対象とする職業であり、人に対して誠実であることが、物に対する誠実さにもつながる」という言葉が印象に残った。資料の寄贈や文化の継承は人との関係性に支えられており、学芸員は人と人をつなぐ役割を担っている。物を通じて地域の記憶と未来を橋渡しする場として、博物館は人の営みに根ざした存在であると感じた。</p>																